

第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配置 困難
文化教養 専門課程	スポーツ トレーナー学科 (2年制)	夜・ 通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
	スポーツ テクニカル学科 (2年制)	夜・ 通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
商業実務 専門課程	医療事務学科 (2年制)	夜・ 通信	8単位 (240時間)	7単位 (160時間)	
(備考) () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している スポーツテクニカル学科(2年制)は2025年度より募集停止					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長 (1978.7～)	2025.5.29～4 年以内に終了 する会計年度 のうち最終の ものに関する 定時評議員会 の終結の時ま で	法人運営における 法務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代表取締役 (2003.10～)	2025.5.29～4 年以内に終了 する会計年度 のうち最終の ものに関する 定時評議員会 の終結の時ま で	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。			
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年2回実施される教育課程編成会議において、各分野の専門家から現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員に改善検討を行い決定する。 毎年、上記の手続きを経て、授業計画(シラバス)を改善検討し、3月に公表する。			
授業計画書の公表方法	ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/		
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。			
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。			
【学業成績の判定および成績証明書の表記】			
判定	評価点	成績評価	成績証明書表記
合格	90点以上～100点	秀	秀
	80点以上～90点未満	優	優
	70点以上～80点未満	良	良
	60点以上～70点未満	可	可
不合格	60点未満	不可	非表示
※出席日数を満たしていない場合や授業内に行う効果測定、課題等の提出が行われていない場合は、「不可」となることがある。			
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。			

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- (1) 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。
- (2) 授業科目の成績は、(1)の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、下記に定める基準によりGP (Grade-Point) を与える。

【科目ごとの成績評価に対するGP (Grade Point)】

成績評価	GP	評価点	備考
秀	4	90点以上～100点	
優	3	80点以上～90点未満	
良	2	70点以上～80点未満	
可	1	60点以上～70点未満	
不可	0	60点未満	
認定	—	—	対象外

【GPA算出方法】

$$\text{GPA} = \frac{\text{(科目の単位数} \times \text{当該科目で付与されたGP) の合計}}{\text{履修科目の単位数の合計}}$$

※小数点以下第2位四捨五入

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定は、修業年限以上在学し、かつその該当する所定の授業科目及び授業時数もしくは単位数を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

(新課程)

学科	修業年限	授業時間数	単位数
スポーツトレーナー学科	2年	1,700時間	62単位
スポーツテクニカル学科※	2年	1,700時間	62単位
医療事務学科	2年	1,700時間	62単位

※2025年度より募集停止

※新制度・旧制度の両方を記載しているために時間と単位を記載

卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/
------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/business_report.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/business_report.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

I) スポーツトレーナー学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	スポーツトレーナー 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700時間)	43単位 (1,290 時間)	14単位 (420 時間)	39単位 (1,050 時間)	0単位 (0 時間)	0単位 (0 時間)
			88単位(2760時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		47人	0人	3人	3人	0人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 年2回実施される教育課程編成会議において、各分野の専門家から現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員に改善検討を行い決定する。 成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出、出席状況等を総合的に勘案して評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。</p> <p>各授業科目の成績評価方法については別に定める。※様式2号の3「3」に記載</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>1. 進級の認定は、各学年において定める単位の修得状況及び出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査する。</p> <p>2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、当該学科の定める単位を取得した者について、校長は課程修了の認定を行う。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>就職支援、学生相談、経済的支援、健康管理、課外活動等、学生への支援体制が整っている。担任との結びつきを強め、個別相談や就職相談などを行っている。</p> <p>保護者等との連携は、各家庭への定期的な連絡（出席状況、学習態度等）を行うことにより、学校・家庭との連携が取れている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) フィットネスクラブ、パーソナルジム、病院、リラクゼーション、鍼灸整骨院 等			
(就職指導内容) 業界や企業研究等のサポートおよび面接トレーニング、履歴書作成指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) JAF A 認定 GFI・REI・SEI・AQWI・AQDI・ADI、健康運動実践指導者、JATI-ATI 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	5人	11.6%
(中途退学の主な理由) ・進路変更、病気療養、家庭の事情 ※休学者1名除く		
(中退防止・中退者支援のための取組) 1. 学生面談の実施等により、学生のシグナルを担当が見逃さずにキャッチし、その		

都度対応している。また、節目ごとに全員と個別面接を行い、今後の進路、目標確認、悩みなどを聞きだし対応している。その結果を指導記録にまとめ、上司に報告も行うなどの細やかな指導を実践している。

2. 近年、経済的理由、精神疾患等で退学を余儀なくされる学生が増加している。退学可能性がある学生の早期発見のために、教員の学生指導力（コミュニケーション能力）の向上、事例に基づく指導方法の確認、担当者間の情報共有を実施している。

II) スポーツテクニカル学科 ※2025年度募集停止

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	スポーツテクニカル 学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700時間)	60単位 (1,290時間)	56単位 (420時間)	21単位 (900時間)	0単位 (0時間)	0単位 (0時間)
			88単位(2760時間)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	0人	0人	0人	

※2024年度入学生2名

内1名トレーナー学科へコース変更、1名退学。

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年2回実施される教育課程編成会議において、各分野の専門家から現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員に改善検討を行い決定する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出、出席状況等を総合的に勘案して評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 各授業科目の成績評価方法については別に定める。※様式2号の3「3」に記載
卒業・進級の認定基準
(概要) 1. 進級の認定は、各学年において定める単位の修得状況及び出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査する。 2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、当該学科の定める単位を取得した者について、校長は課程修了の認定を行う。
学修支援等
(概要) 就職支援、学生相談、経済的支援、健康管理、課外活動等、学生への支援体制が整っている。担任との結びつきを強め、個別相談や就職相談などを行っている。 保護者等との連携は、各家庭への定期的な連絡（出席状況、学習態度等）を行うことにより、学校・家庭との連携が取れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

Ⅲ) 医療事務学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療事務学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700時間)	22単位 (1,590 時間)	21単位 (1,200 時間)	43単位 (660時 間)	0単位 (0 時間)	0単位 (0 時間)
			88単位(2760時間)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		43人	0人	3人	1人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年 2 回実施される教育課程編成会議において、各分野の専門家から現行授業科目の見直しや授業方法の改善、カリキュラム改善のためのご提案をいただき、校長を含めた教務責任者、現場教員に改善検討を行い決定する。
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出、出席状況等を総合的に勘案して評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 各授業科目の成績評価方法については別に定める。※様式 2 号の 3「3」に記載
卒業・進級の認定基準
（概要） 1. 進級の認定は、各学年において定める単位の修得状況及び出席状況等の学習姿勢も考慮のうえ、進級判定委員会にて審査する。 2. 卒業の認定は、修業年限以上在学し、当該学科の定める単位を取得した者について、校長は課程修了の認定を行う。
学修支援等
（概要） 就職支援、学生相談、経済的支援、健康管理、課外活動等、学生への支援体制が整っている。担任との結びつきを強め、個別相談や就職相談などを行っている。 保護者等との連携は、各家庭への定期的な連絡（出席状況、学習態度等）を行うことにより、学校・家庭との連携が取れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院、クリニック 等			
（就職指導内容） 業界や企業研究等のサポートおよび面接トレーニング、履歴書作成指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬席級事務能力認定試験（医科）、日ビ請求事務検定 1 級、日ビ医療秘書 1 級、日ビ請求事務検定 2 級、日ビ医療秘書 2 級、日ビ調剤薬局事務検定 等			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
26 人	1 人	3.8%	

(中途退学の主な理由) 進路変更 ※休学者1名を除く
(中退防止・中退者支援のための取組) 1. 学生面談の実施等により、学生のシグナルを担当が見逃さずにキャッチし、その都度対応している。また、節目ごとに全員と個別面接を行い、今後の進路、目標確認、悩みなどを聞きだし対応している。その結果を指導記録にまとめ、上司に報告も行うなどの細やかな指導を実践している。 2. 近年、経済的理由、精神疾患等で退学を余儀なくされる学生が増加している。退学可能性がある学生の早期発見のために、教員の学生指導力(コミュニケーション能力)の向上、事例に基づく指導方法の確認、担当者間の情報共有を実施している。

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スポーツトレーナー学科 (2年制)	200,000円	700,000円	480,000円	その他欄に記載の金額は「教材費」「維持費」「実習・演習費」の合計金額
スポーツテクニカル学科 (2年制)	200,000円	700,000円	480,000円	※募集停止
医療事務学科 (2年制)	200,000円	680,000円	420,000円	その他欄に記載の金額は「教材費」「維持費」「実習・演習費」の合計金額
修学支援(任意記載事項)				
学費支援制度：特待生試験の結果や取得している資格に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除 ・試験による特待生 ・取得資格による特待生 ・クラブ特待生				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 第三者評価は未実施であり、学校関係者評価委員会をもって代えている。 学校関係者評価委員会では、教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、またその教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、自己点検 (自己評価) を行いその結果につき、学校関係者評価委員会を設置して種々の評価項目から評価する。 (1) 主な評価項目 「学校運営」「教育活動」「地域貢献」等 (2) 評価委員の構成 「企業等評価委員」「地域住民評価委員」「卒業生」等複数名から構成されており、学校関係者評価委員との意見交換を実施することにより、多角的な視点からの意見聴取及び検討を実施するようにしている。 (3) 評価結果の活用方法 課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職により改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 サップス	2020. 4. 1 ~ 2026. 3. 31 任期更新	企業等委員
株式会社 サップス	2020. 4. 1 ~ 2026. 3. 31 任期終了	企業等委員
スポーツクラブ NAS 株式会社	2026. 4. 1 ~ 2028. 3. 31 新規就任	企業等委員
医療法人相愛会 相原第二病院	2021. 11. 1 ~ 2028. 3. 31 任期更新	企業等委員
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
(備考) 第三者評価は実施しておらず、評価の基本方針および評価の委員については学校関係者評価の内容を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
--